

イギリスの歴史と文学

English History and Literature

科目提供大学名	大手前大学
担当教員	森井 祐介 (国際日本学部 国際日本学科 准教授)
単位数	2 単位
最大授業定員	40 名
開講学期	後期 4 時限 (17:50 ~ 19:20) 木曜日 (9月26日 ~ 1月16日、12月25日 ~ 1月7日は冬休み期間)
成績評価	出席、平常テスト (2 回)、その他の課題等
テキスト	パワーポイントのスライドを配布
参考文献	授業中に指示
授業以外の学習方法	原語または翻訳で紹介した文学作品を読む。書籍やウェブで扱った時代について詳しく調べる。
その他の特記事項	各回で扱うテーマは理解度に応じて変更することがある。
講義概要	イギリスの歴史を踏まえながら、詩、演劇を中心に各時代の代表的な文学作品を紹介しつつ、文学と歴史のダイナミックな関係を社会・文化的観点から考察する。半期という時間的制約のため、扱う対象はシェイクスピアが活躍した 1600 年代前半までとする。
到達目標	イギリス史とイギリス文学を例に取りつつ、一時代の精神風土を形成する種々の要素に関する理解を深める。延いては、広く日本や諸外国の歴史・文化に親しむ知的好奇心を育み、人文学的教養に裏打ちされた思考力を養う。
授業計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、授業の進め方、成績評価の説明、その他 2. 古代と文学の起源：ローマの侵略、ゲルマン人の侵略、キリスト教 3. 古代とその文学：アルフレッド大王、『アングロ・サクソン年代記』、デーン人の侵略 4. 中世とその文学：ノルマン人の侵略、ウィリアム征服王、フランス語の流入 5. 中世とその文学：中英語の成立、チョーサー、疫病の流行 6. 中世とその文学：印刷技術の発達、演劇の起源 7. 初期近代とその文学 (詩を中心に)：ヘンリー 8 世、イギリス宗教改革、エリザベス 1 世 8. 前半のまとめ：復習テスト 9. 初期近代とその文学 (詩を中心に)：イングランドの発展、スペンサー、ソネット 10. 初期近代とその文学 (詩、演劇)：スペンサー、シェイクスピア、商業演劇の発達 11. 初期近代とその文学 (演劇を中心に)：大航海時代、アルマダの海戦、歴史書、歴史劇 12. 初期近代とその文学 (演劇を中心に)：劇場の構造と観客 13. 初期近代とその文学：演劇、その他 ジェイムズ 1 世、王権 14. 初期近代とその文学：補足 15. 後半のまとめ：復習テスト

「イギリスの歴史と文学」 森井 祐介 (国際日本学部 国際日本学科 准教授)



1. 英語が好きで英文科に入り、本好きだったので両者が融合できる英文学研究の道に進みました。英文学の中でも演劇、特にシェイクスピアを中心とする 1600 年代前後のイギリス演劇を研究しています。
2. 演劇を専門に選んだのは、映画好きだったこととも関係があります。映画も演劇も時間的制約の中で物語が展開されますが、映画の脚本と戯曲とでは何が違うのだらうと（余りにも素朴に）考えたのがきっかけです。専門としているシェイクスピア時代の演劇は、舞台装置が簡素だったこともあって、台詞でほぼ全てを表現していました。濃密な台詞を深く読み解こうとすればするほど、多様に解釈できるところがこの時代の演劇の面白さです。
3. 文学作品を生んだ歴史的背景を、政治、経済、宗教など多岐に亘って簡潔に紹介します。常に受講生への問いかけを交えながら、個々の文学テキストを英語原文・日本語訳の両方を配布した上で実際に読み解いていきます。社会・政治・経済など様々な要素が絡み合っ、特定の時代の文学が生まれたことを知る中で、言葉そのものの面白さに気付いてもらえれば幸いです。
4. マナーを守りつつも、積極的な反応を期待します。